

## ネギ葉枯病-黄色斑紋病斑の発生実態

### 1 背景・目的

近年、日本海側のネギ産地では、出荷時に等級落ちの原因となる「黄色斑紋病斑(ネギ葉枯病の一症状で中心葉に発生が多くみられる、写真)」が問題となっている。そこで、本県における本症状の発生実態を明らかにする。

### 2 技術のポイント

本県での黄色斑紋病斑の発生は9月下旬以降見られ、11月に増加する(表、図)。現在のところ、発生圃場はごく一部である。



写真 黄色斑紋病斑

表 2018年黄色斑紋病斑発生株率(金沢市才田町)

| 調査日  | 9/27 | 10/3 | 10/10 | 11/19 |
|------|------|------|-------|-------|
| 発病株率 | 0.7  | 0.5  | 0.4   | 10.7  |

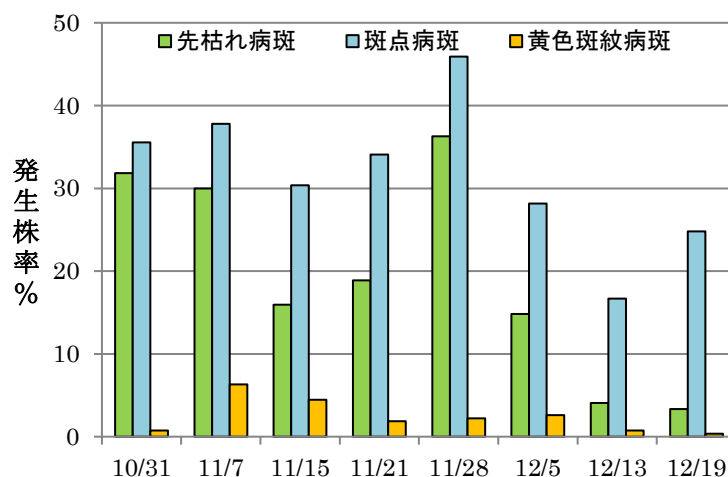


図 2019年葉枯病各症状別の発生推移 (金沢市才田町)

### 3 成果の活用と残された問題点

- (1) 2か年の調査に基づく結果である。
- (2) ベと病やさび病などと合わせて葉枯病の基幹防除を徹底する。

問合先：生物資源グループ TEL 076-257-6911  
 担当者：松田絵里子・吉田佳代・安達直人・渡邊照之